

Senzoku Gakuen College of Music
Senzoku Wind Symphony

洗足ウインド・シンフォニー演奏会

2022年7月12日(火)

18:30 開演 (18:00 開場)

洗足学園 前田ホール

洗足学園音楽大学・大学院

ごあいさつ

本日は、御来場ならびに御視聴いただきまして、誠に感謝申し上げます。
今年度より洗足ウインド・シンフォニーの責任者を仰せ付かりました本学教員の
池上 亘と申します。

この洗足ウインド・シンフォニーは、洗足学園の吹奏楽を代表すべく編成され
ました。四月に初めて顔を合わせたバンドですが、今日この日まで、イベントで
の演奏も兼ねながら、鍛錬を続けてまいりました。今宵、その成果を遺憾無く発
揮し、素晴らしいステージでの様子を皆様にお届け出来ると信じております。

また今宵の指揮、今や飛ぶ鳥を落とす勢いで世界を駆け回る指揮者、原田 慶太
楼さんをお迎え出来る事を、メンバー及び関係者一同、喜びでいっぱいです。
その原田 慶太楼さんの選曲による、意欲的かつエンターテイメントに溢れたプロ
グラムを皆様にお届け出来る事を、学生諸君共々、期待で胸が膨らむ想いです。

どうか、最後までごゆっくりと洗足ウインドシンフォニーの若さ溢れるサウン
ドをお楽しみ下さい。今宵のコンサート開催まで御尽力下さいました関係各位に
感謝申し上げます。

企画運営責任者 池上 亘

～新型コロナウイルス感染症拡大防止のお願い～

- ・マスク着用の徹底、こまめな手指消毒・手洗い・咳エチケットの励行にご協力くださいますようお願い申し上げます。
- ・出演者とのご面会は楽屋口、ロビーを含め全面でご遠慮いただいております。尚、出演者への花束・プレゼントもお控えくださいますようお願い申し上げます。
- ・休憩時、終演後はスタッフが扉を開けるまでお待ちいただき、空いているドアから混雑を避けて入退場をお願い申し上げます。
- ・演奏者への声援はご遠慮いただき、拍手のみとしていただきますようお願い申し上げます。
- ・客席やロビーでのご飲食はお控えくださいますようお願い申し上げます。
- ・大声や対面での会話はお控えくださいますようお願い申し上げます。
- ・万一、集団感染の発生が明らかになった際は、保健所に入場者の情報を提供する場合がございます。

J.マッキー / レット・ミー・ビー・フランク・ウィズ・ユー
John Mackey / Let Me Be Frank With You

小田 実結子 / 夜明け
Miyuko Oda / Dawn *日本初演
*Japan Premiere

E.ウイテカー / クラウドバースト
Eric Whitacre / CLOUDBURST

F.ティケリ / ブルー・シェイズ
Frank Ticheli / Blue Shades

♪休憩♪

J.ウィリアムズ × G.ホルスト /
～ スター・ウォーズ アンド プラネッツ、スペシャル・ミックス ～
John Williams × Gustav Holst / ~ STAR WARS and PLANETS, The Special Mix ~
*Arranged by Stephen Bulla, Merlin Patterson, Donald Hunsberger, Paul Lavender

MAIN TITLE
Mars, the Bringer of War
The Imperial March (Darth Vader's Theme)
Scherzo for X-Wings
Venus, the Bringer of Peace
Princess Leia's Theme
Jupiter, the Bringer of Jollity The Jedi Steps and Finale

演奏

指揮：原田 慶太楼

洗足ウインド・シンフォニー

J.マッキー / レット・ミー・ビー・フランク・ウィズ・ユー
John Mackey / Let Me Be Frank With You

作曲者である、J.マッキーは、1973年に生まれたアメリカ人である。音楽家の親の元に生まれ、祖父から楽譜の読み方やコンピュータによる楽譜作成を教わった。楽器演奏の教育を受けたことはないが、後にクリーヴ音楽大学とジュリアード音楽院にて作曲を学んだ。

彼はこの曲を2020年夏、コロナ禍の真っ只中に作曲し始めた。制作を始めて24小節目くらいまで進んだ時、今書き進めているこの曲は既に誰かによって書かれているのではないかと不安な気持ちになった。F.ティケリの盗作ではないかと不安になったのだ。そこでティケリに尋ねたところ、彼は「私はこのような曲は書いたことはない、でも、誰もがこのような作品を書く可能性があることは明らかだ」と言った。そこでマッキーは自分なりにティケリ風の、3分の楽しい曲を書こうと考え作曲をした。「ティケリだけど、スネアドラムを多用していくつかの”間違った”音を加えた曲」としたと、彼は述べている。

マッキーは「インスピレーションを与えてくれたティケリに感謝し、この作品を捧げます」と述べている。J.マッキーとF.ティケリの2人によってつくられた、2人の世界観が混ざり合った明るく楽しい雰囲気のある曲を楽しんでいただきたい。

(BRAIN楽曲解説より一部引用)

学部2年 秋山 凜音 (トランペット専攻)

小田 実結子 / 夜明け
Miyuko Oda / Dawn

この作品は、2021年ミッドウェスト・クリニック主催「第1回バーバラ・ビュールマン作曲コンクール中学校バンド向け作品部門」にて、第1位を受賞した曲である。

2021年12月にシカゴにて世界初演されたが、今回が日本初演となる。作曲者は、「この作品 夜明け としてついにトンネルの終わりに光が見えることを願っています」と記している。Dawnには夜明けという意味があり、COVID-19のパンデミックに世界が苦しんでいる中、終わらない夜はないという意味が込められている。

夜明けの光で徐々に開いていく明るく美しい景色や、絶えず変化する空の色を、様々な調で表現している。

学部4年 二階堂 希美 (クラリネット専攻)

E. ウィテカー / クラウドバースト

Eric Whitacre / CLOUDBURST

「la lluvia」。曲中で囁かれるこの言葉は、スペイン語で「雨」を意味する。この曲の作曲者であり、指揮者のエリック・ウィテカーは、グラミー賞をはじめ、数多くの作曲賞を受賞しており、合唱や吹奏楽の分野でプロからアマチュアまで幅広い人気を誇るアメリカの現代作曲家である。また、画期的なバーチャル合唱「Deep Field」の創始者であり、テクノロジーを駆使したイノベティブな音楽アレンジの担い手として知られる。

CLOUDBURSTは、彼が、北カリフォルニアの山の中、虫や鳥の音が響くのかな湖畔で目撃した激しい雷雨に触発され、合唱曲として書いた作品である。雨雲が近づき一斉に鳴き止む動物たち、瞬時に訪れた静けさ、直後の雷雨が表現されている。インディアナ州のフェスティバルバンドからの依頼により吹奏楽版が生まれた。リハーサルで初めて演奏を聴いた彼は、オーケストレーションによる作品の変化に、感動のあまり言葉を失ったという。管打楽器、声、そして指先が奏でる、壮大な雷雨と繊細な雨音が、遠くへ消え入るまで、お楽しみいただきたい。

学部2年 鈴木 ぴあ乃 (フルート専攻)

F. ティケリ / ブルー・シェイズ

Frank Ticheli / Blue Shades

フランク・ティケリは1950年にアメリカのルイジアナ州、モンローに生まれた。現在は、南カリフォルニア大学作曲科准教授で、彼の作品は合唱曲や室内楽、管弦楽や吹奏楽と多岐に渡るが、近年は吹奏楽作品を作曲活動の中心とし、数々の権威ある賞を受賞した。

「ブルーシェイズ」という曲名にあるように、この作品はブルースの雰囲気を持っており、ジャズの要素が曲全体にあるが、それは決して「この曲がブルースである」という意味ではない。12バー・ブルース（12小節からなる、ブルースの曲における典型的な形式）の進行は曲を通してひとつも見つからず、序盤の一部を除いて八分音符はスイングしない。

しかしながらこの曲は、ブルースの影響を非常に強く受けており、「ブルー・ノート・スケール（通常音階の3,5,7音を半音下げた音階）」が常に使われつつ、ブルースの和音、リズム、旋律の作風が曲全体に用いられている。それらが明るい青や暗い青、くすんだ青や熱い青など、沢山の「shades of blue（青の色合い）」で描かれている。

時にスウィング時代に典型的であったフレーズの幾つかを引用しているが、単なる真似事としてではなく、その時代への賞賛として用いられている。

ゆっくりとした静かな中間部は、煙草の煙で満ちた、暗いブルースの溜まり場の雰囲気を思い起こさせる。曲の終わり近くまで長く演奏されるクラリネットソロは、スウィング時代の代表的なジャズクラリネット奏者・ベニー・グッドマンの熱い演奏を思い起こさせる。そして、それはスウィング時代に一般的であった汽車の汽笛を思い起こさせるような、金管の和音による「嘆き」の主題を導くという役割も担っている。

学部3年 中原 雄太郎(サクソフォーン専攻)

G.ホルスト × J.ウィリアムズ /
 ～ スター・ウォーズ アンド プラネッツ、スペシャル・ミックス～
 Gustav Holst × John Williams / ～ STAR WARS and PLANETS, The Special Mix ～

本作品は、原田慶太楼氏によって、J.ウィリアムズ(1932)作曲の「スター・ウォーズ」と、G.ホルスト(1874-1934)作曲の「惑星 作品32」から、今宵の演奏会の為に、特別にミックスされたものである。

「スター・ウォーズ」の作曲にも影響を与えた、管弦楽曲の代表的な名曲との未知なるスペシャル・ミックス、そして原田慶太楼氏と、洗足ウインド・シンフォニーによる、宇宙のように果てしなく広がる可能性に、大いにご期待いただきたい。

MAIN TITLE (Arr. Stephen Bulla)

*スター・ウォーズ

エピソード4新たなる希望の最初のシーンの音楽であり、スター・ウォーズといえばこの曲である。この曲を聴くだけで映画を見たことのある人であれば、巨大な宇宙船を想像するだろう。

Mars, the Bringer of War (Arr. Merlin Patterson)

*プラネッツ

〈火星、戦争をもたらす者〉アレグロ、5/4拍子、ソナタ形式。火星の英語名Mars/マーズはローマ神話の戦いと農耕の神マルスから名付けられたものである。曲中、執拗に繰り返される5拍子のリズムは戦争に臨む兵士の足音や武器の触れ合う音を暗示しているようである。

The Imperial March (Darth Vader's Theme) (Arr. Donald Hunsberger)

*スター・ウォーズ

帝国のマーチはエピソード5帝国の逆襲で登場し、ダースベイダー登場の場面やスター・ウォーズシリーズの中でダークサイド、悪役のシーンなどに使用される。メインテーマと共にスター・ウォーズを代表する曲である。

Scherzo for X-Wings (Arr. Paul Lavender)

*スター・ウォーズ

エピソード7フォースの覚醒にて、レジスタンスが操縦するXウィングと呼ばれる戦闘機が、敵基地を攻撃する際に登場する曲である。エピソード4新たなる希望で反乱軍が敵基地を攻撃する彷彿とさせるシーンである。Scherzoとは主に軽快な3拍子の曲の意味であるが、この曲は8分の6拍子と8分の9拍子で書かれており、より複雑なScherzoとなっている。

Venus, the Bringer of Peace (Arr. Merlin Patterson)

*プラネッツ

〈金星、平和をもたらすもの〉変ホ長調、3部形式。金星(Venus/ヴィーナス)は愛と美の女神であり、穏やかやしなやかといったイメージになるだろう。楽曲も、ホルンのソロから始まり表情を変えながら美しく緩やかに進んでいく。

Princess Leia's Theme (Arr. Donald Hunsberger)

*スター・ウォーズ

エピソード4新たなる希望などのレイア姫の登場する際に使用される曲である。この曲のメロディは作中に使用されているが、この曲自体は作中には使用されず、曲の冒頭などはサウンドトラックの為のものである。

Jupiter, the Bringer of Jollity (Arr. Merlin Patterson)

*プラネッツ

〈木星、快樂をもたらすもの〉3部形式。木星(Jupiter/ジュピター)はローマ神話の主神ユピテル、ギリシア神話の全知全能の神ゼウスと呼応する。実は中間部の有名な主題は、作者自身によって管弦楽付きコラールに改作編曲されており、イギリスの第二の国歌とも呼ばれる愛国歌で『I vow to thee, my country (我は汝に誓う、我が祖国よ)』として愛唱されている。

The Jedi Steps and Finale (Arr. Paul Lavender)

*スター・ウォーズ

この曲はエピソード7フォースの覚醒の最後のシーンからエンドロールにかけての音楽である。スター・ウォーズシリーズの曲、そしてフォースの覚醒に登場した曲が使われており、Light of the Forceのテーマがホルンのソロで演奏され、メインテーマ、そして今作のメインキャラクターであるレイのテーマ、カイロレンの登場シーン、作中に登場する宇宙船ファルコン号での戦闘シーン、レジスタンスのテーマ、そしてレイのテーマが流れ、今回はフィルム・エンディングにて本日の演奏会のfinaleを迎える。

スター・ウォーズ：学部4年 齊藤 徹也 (チューバ専攻)

プラネッツ：学部3年 上柳 創大 (ユーフォニアム専攻)

～ スター・ウォーズ アンド プラネッツ、スペシャル・ミックス ～ に使用されている作品について

G.ホルスト／惑星 作品32

グスターヴ・ホルスト(1874-1934)は音楽教師の父とピアニストの母の間に生まれ、幼い頃から音楽環境に恵まれていた。彼の作曲の始まりは驚くべきことに独学であった。10代で学び始めたとされており、ロンドンの王立音楽院では作曲を専攻しながらトロンボーンを副専攻として学んでいる。ホルストの学生時代には、大作曲家によくみられる「天才的」エピソードはあまりなく、作曲に対する評価はあまり得られていないが、卒業後トロンボーン奏者としてはスコットランド管弦楽団の本番に参加するなど、活躍を見せている。しばらくトロンボーン奏者として生計を立てていたが作曲家になることを諦めきれず、その後トロンボーン奏者を引退して作曲家を志すことになる。

組曲『惑星』は全7曲から構成されており、太陽系の惑星のうち地球を除く、水星、金星、火星、木星、土星、天王星、海王星の7つの天体に曲を1つずつ割り当てて作曲された。作曲に取り掛かる以前ホルストは友人の作家クリフォード・バックスから占星術の手ほどきを受けており、強い影響を受けることになる。その証拠に、普段は小編成で民族音楽を取り入れた作品が多いホルストが、突然地球を抜け出した宇宙レベルの、また編成も演奏時間もスケールの大きい作品を手がけている。また、この楽曲が残した影響として、スターウォーズの映画監督であるジョージ・ルーカスは作曲する際にジョン・ウィリアムズに『惑星』を引用して「こんな曲を作ってほしい」とリクエストしたと言われている。

学部3年 上柳 創大 (ユーフォニアム専攻)

J.ウィリアムズ／スター・ウォーズ

ジョン・ウィリアムズは1932年2月8日ニューヨーク州生まれ。ハリウッドを代表する映画作曲家のひとりである。ニューヨークでナイトクラブのジャズピアニストとして働いた後、1950年代中頃のハリウッドで映画音楽のキャリアをスタートした。「スーパーマン」、「スター・ウォーズ」シリーズや、「ハリー・ポッター」シリーズなど、誰もが知るテーマ曲の数々を生み出した。作曲を手がけた映画は140作以上におよび、アカデミー作曲賞では2017年までに50ノミネート、5度の受賞を誇る。2009年、アメリカ政府から全米芸術勲章を授与された。

「スター・ウォーズ」シリーズは1977年エピソード4新たなる希望から始まり、1980年にエピソード5帝国の逆襲、1983年にエピソード6ジェダイの帰還が製作された。これは旧3部作と呼ばれている。当初、スター・ウォーズ1作目は「スター・ウォーズ」という作品名だったが、帝国の逆襲の公開時に、新たなる希望という副題が付けられ、のちにこの3作品の過去を描く映画が公開された為、エピソード4と付け加えられた。1999年、エピソード1ファントム・メナスが公開され、2002年にエピソード2クローンの攻撃、2005年にエピソード3シスの復讐が製作された。これを新3部作と呼ばれる様になった。そして2015年、エピソード7フォースの覚醒が公開され、2017年にはエピソード8最後のジェダイ、2019年にエピソード9スカイウォーカーの夜明けが公開され、これを続3部作と呼ばれる。その他、スピンオフ作品やアニメーションシリーズなど数多くの作品がある。

スター・ウォーズという作品は大きく2つの勢力があり、今回演奏する楽曲の作品であるエピソード4～6長年帝国が恐怖で支配を行う中、反乱軍が抵抗するという物語。エピソード7～9は帝国の残党のから結成されたファーストオーダーがまた銀河を支配しようとするが、それに抵抗するレジスタンスという構図となっている。

スター・ウォーズという作品に登場するフォースという力、フォースを平和や正義に用いるジェダイと呼ばれるライトサイド、そして怒りや憎しみなどの攻撃に用いるシスと呼ばれるダークサイドがある。ダークサイドは銀河を支配するために帝国やファーストオーダーに味方し、ライトサイドはそれを防ぐ為、反乱軍、レジスタンスに味方している。

学部4年 齊藤 徹也 (チューバ専攻)

原田 慶太楼 Keitaro HARADA

現在、アメリカ、ヨーロッパ、アジアを中心に目覚ましい活躍を続けている期待の俊英。

シンシナティ交響楽団およびシンシナティ・ポップス・オーケストラ、アリゾナ・オペラ、リッチモンド交響楽団のアソシエイト・コンダクターを経て、2020年シーズンから、アメリカジョージア州サヴァンナ・フィルハーモニックの音楽&芸術監督に就任。

ヒューストン、インディアナポリス、メンフィス、ルイジアナ、ウエストバージニア、ツーソン、フェニックス、ハワイ等のオーケストラと共演。国内でも様々なオーケストラと共演。

オペラ指揮者としても実績が多く、アリゾナ・オペラのアシスタント・コンダクターとして、<ドン・パスクワーレ><連隊の娘><カルメン><トスカ>ほかの作品を手がけてきた。シンシナティ・オペラ、ブルガリア国立歌劇場、ノースカロライナ・オペラで活躍。国内ではフェニーチェ堺のオペラに登場。

2010年タングルウッド音楽祭で小澤征爾フェロー賞、2013年ブルーノ・ワルター指揮者レビュー賞、2014・2015・2016・2020・2021・2022年米国シヨルティ財団キャリア支援賞を受賞。

1985年東京生まれ。インターロックン芸術高校音楽科において、指揮をF.フェネルに師事。指揮法をロシアのサンクトペテルブルクで学び、2006年21歳のときにモスクワ交響楽団を指揮してデビュー。

2009年、ロリン・マゼール主催の音楽祭「キャットソルトン・フェスティバル」にマゼール氏本人の招待を受けて参加。2010年には音楽監督ジェームズ・レヴァインの招聘を受けてタングルウッド音楽祭に参加、2011年には芸術監督ファビオ・ルイジの招聘によりPMFにも参加。これまでに、ロバート・スパノ、マイケル・ティルソン・トーマス、オリバー・ナッセン、ヘルベルト・ブロムシュテット、ステファン・アズベリーなどに師事。

オーケストラやオペラのほか、室内楽、バレエ、ポップスやジャズ、そして教育的プログラムにも積極的に携わっている。2021年4月東京交響楽団正指揮者に就任。第29回(2021年度)渡邊曉雄音楽基金音楽賞受賞。第20回齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。オフィシャル・ホームページ: kharada.com/ @KHconductor



©Geoff L. Johnson

洗足ウインド・シンフォニー

Senzoku Wind Symphony

洗足学園音楽大学では、4つの吹奏楽団体が統括責任者、指導教員の下、日々研鑽を積んでいる。2009年から体制を新たに編成し、1年生だけのフレッシュマン・ウインド・アンサンブルと、上級生バンドのグリーン・タイウインド・アンサンブル、ブルー・タイウインド・アンサンブル、そして洗足ウインド・シンフォニー(SWS)が其々の特色を活かしながら活動している。洗足ウインド・シンフォニーは池上 亘(本学教員)がプロデュースしており、洗足学園音楽大学のフラッグシップ・バンドとして位置づけられ、洗足の顔として、前期・後期の演奏会、そして対外的な演奏会に出演し、常に高い評価を得ている。2015年5月には、アクトシティ浜松において「日本吹奏楽指導者クリニック」のメインゲストバンドとして演奏し(指揮:ジェリー・ジェンキン)、大いなる称賛を得た。2017年12月にはジョン・マッキー本学委嘱作品「ザ・ナイト・ガーデン」の世界初演を行い話題となる。





Senzoku Wind Symphony Member

Concert mistress	磯崎 優香					
Flute	梅崎 真綾 山上 智寛	榭原 里來 鈴木 ひあ乃	町田 花音 中川 花音♪	池田 徳羽子	菊地 晃空	
Oboe	奥野 彩	佐藤 千尋#	末松 美香#			
Clarinet	磯崎 優香 鈴木 潤 杉田 愛実#	木下 舞香 高橋 美乃 日下 翔太#	二階堂 希美 山口 真央 平野 佳太#	今泉 真緒 森 卓也# 吉川 清香#	浦川 乃阿 二瀬 結衣#	
Bassoon	及川 夏海	渡邊 陽南	前澤 美里#	殿村 和也#		
Saxophone	伊藤 輝瞳 田中 亜耶 伊藤 有莉愛	兼田 柊子 米田 諒土 近藤 空	久米 愛海 矢澤 亘 平野 未紗	重井 拓人 鈴木 ましろ 山岸 芽以	清水 建吾 中原 雄太郎	
Trumpet	芦川 大樹 細谷 侑生 藤原 くるみ	磯野 沙弥香 溝口 大輔 秋山 凜音	高木 美雨 大津 泰 星野 花織	冨永 倫 五月女 啓太 吉井 絵理果	檜山 沙南 鈴木 ころろ LIN GUANGLUE	
Horn	浅田 万結 高良 知里	山口 亜希菜 佐藤 俊輝♪	石野 奈々 種子田 佳歩♪	直田 真潮 金井 亮介♪	山本 海音	
Trombone	小森 豊生 永野 宏弥	篠塚 裕太 本間 千尋	神野 葵 松田 真凜	小野 航 森田 堅人	川上 奏太郎	
Euphonium	市村 結衣	上柳 創大	清水 榛菜	荒木 優奈		
Tuba	齊藤 徹也 鈴木 颯	吉田 怜生 南迫 奏太	渡部 陽菜	遠藤 愛奈	長谷川 夏帆	
Percussion	江原 和紀 熊谷 彩夏 鏑木 舜裕	小野寺 俊介 小山 梓 林 まど子	栃下 紗奈 佐山 果凜 松田 有平	中田 実紅 宗像 桃子 吉田 創	横木 秀真 相川 拓音	
String Bass	呉 惇禎#	本田 直也#				
Piano	小嶋 みのり♪					
Celesta	小林 萌♪					
Harp	山内悠里佳#	片岡詩乃♪				
Organ	原田 真侑#					
Director	池上 亘					
Associate Director	滝澤 尚哉					
Trainer	前田 綾子 田中 拓也 林 辰則 次田 心平	田淵 哲也 大城 正司 本間 千也 石井 喜久子	松本 健司 勝俣 泰 篠崎 卓美 秋田 孝訓	中田 小弥香 久永 重明 府川 雪野	貝沼 拓実 高橋 敦 岩黒 綾乃	
Academic Coordinator	大島 健太郎					
Class Assistant	北野原 由依					

